

鎌倉丸



遭難顛末報告書 (日本郵船戦時戦史)

遭難日時：昭和18年4月28日0210

場所：当事者不明のため位置不明なるも遭難時間と予定電報とにより「パナ」島「ナ」角沖北緯10度25分東経121度50分と推定せらる

天候及海上模様：当時海上風波なく（風速0，静波）三日月（月齢不詳）あり、視界は濛気のため不良、水平線を見る能わず

船名 船種：鎌倉丸 符字JFZC

所属：海軍省配属、横鎮所管、一般雑用

総トン数、速力、吃水、船齢：17,526

総噸 公試速力20.65 吃水28.3呎

船齢昭和4年5月（14年）

兵装の有無：制式名不明なるも最前後部に各一門の8糎砲を有す 爆雷数4個、聴音機一基、機銃6

発航地、発航日時：

マニラ港 昭和18年4月27日0520

仕向地及到着予定日時：

バリックパン港 4月30日1200

航行の実施：時速17節C法

鎌倉丸

昭和18年4月27日0520 マニラ発バリックパン向け航行中、28日0210頃北緯10度25分、東経121度50分（パナイ島ナソ岬西方9Km付近）において米潜水艦 *Gudgeon* (SS-212) からの魚雷攻撃を右舷主機室と四番艙の中間に第一弾を、30秒後に第二弾が補機室に命中。直ちに砲戦を開始したが浸水のため右舷に急傾斜して船尾を下にして沈没。本船には約2500名の便乗者と車両など多くの軍需品を搭載して18ノットの高速を活かした護衛なしの単独航行のため、遭難時連絡が取れなかったことから救助が遅れ多くの犠牲者を出した。便乗者約2000名戦死。船員201名中176名戦死

<戦時船舶史>

米軍記録

Submarine *Gudgeon* (SS-212) sinks Japanese transport/hospital ship *Kamakura Maru* 30 miles southwest of Naso Point, Panay, P. I., 10° 18' N, 121° 44' E.

この記述では本船は輸送船／病院船となっている。

本船は海軍徴傭船で、病院船としては登録されていない。従って戦後米軍がまとめるに当たり認識を誤ったと考えられる。

昭和18年4月16日 1800神戸出港

昭和18年4月17日 佐世保入港

昭和18年4月19日 夕刻 佐世保出港 護衛 高島

昭和18年4月22日 高雄出港

昭和18年4月25日 マニラ入港

昭和18年4月27日 0520マニラ出港、バリックパン4月30日1200到着予定

便乗者：陸海軍軍人・軍属（設営隊工員）・民間技術者・女性・報道関係者

出典 あゝ鎌倉丸 ー総集編ー鎌倉丸を偲ぶ会

日本郵船戦時戦史、同資料集

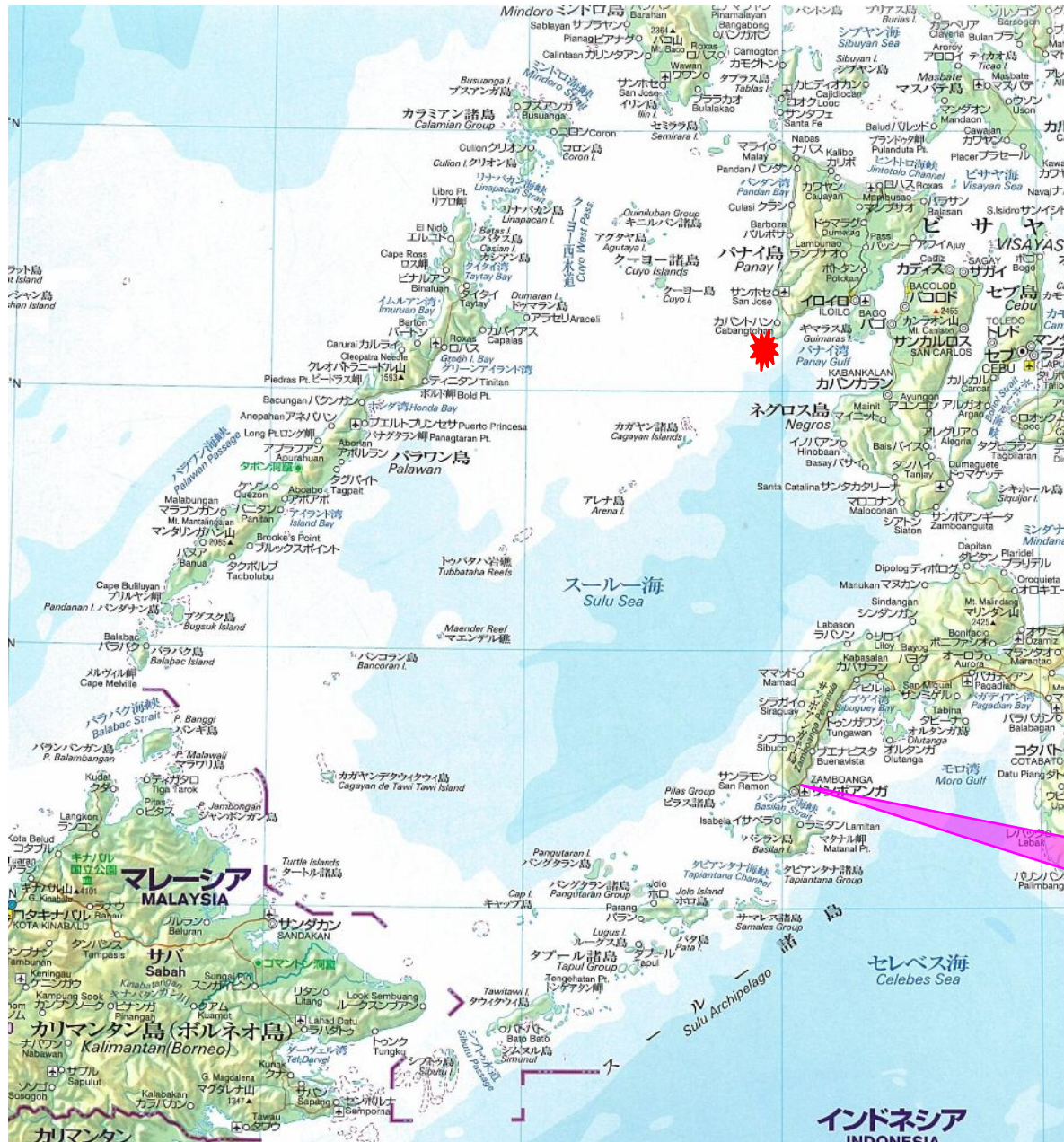
The Official Chronology of the U.S. Navy in World War II--1943



鎌倉丸 日本郵船 17,526総トン

昭和3年2月6日 横浜船渠において秩父丸として起工 昭和4年5月8日進水 昭和5年3月10日竣工
姉妹船 浅間丸、龍田丸

昭和14年1月18日鎌倉丸と改名 昭和17年8月10日日英交換船として横浜出港 10月8日帰港
〈日本郵船戦時戦史〉



撃沈後生存者は付近に漂っていた救命艇に移乗し漂流

第八号艇：141名

第十七号艇：96名

伝馬船：39名

筏など：多数

途中で疲労、精神異常を来し、多くの人達が死亡

5月3日に木曾丸、武昌丸、第二京丸に救助された人員

軍人：154名

乗組員：28名

一般便乗者：283名

合計：465名

上陸後：9名死亡

遭難位置とザンボアンガまでは直線距離にして約210マイル(380Km)離れている。

生存者が上陸した
ミンダナオ島
ザンボアンガ

鎌倉丸 遭難位置詳細

<google map>



北緯 10度25分
東經 121度50分